

# プレゼンシート PRESENTATION

チーム

J

キャッチコピー

推しの町、見つけてみませんか

アイデア名

推し町プロジェクト

プレゼンの内容

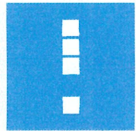
人々が町関係なく、ボランティアなどに参加する という未来をつくるために、

「推し町」を見つけてもらう

というアイデアです！

チーム名

New idea



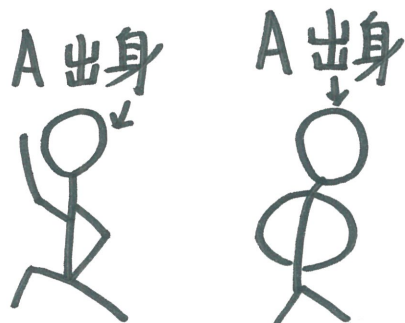
# つくりたい未来シート VALUE CHANGE

チーム  
J

つくりたい未来のタイトル

## 出身なんて関係ない!!

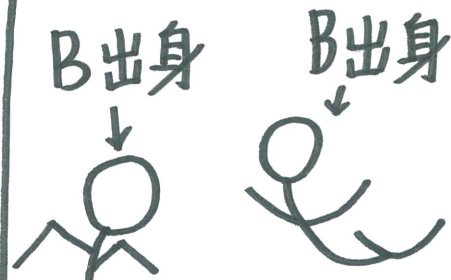
いままで A 町



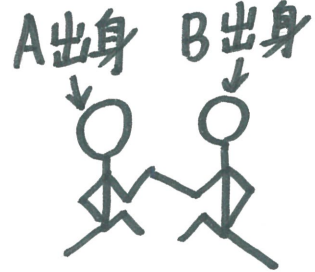
「いまでは…人々は〇〇だった」の例で…

いまでは、人々は自分の出身の町や地域の活動にしか参加しなかった。

B 町



未来 A 町



「これからは…人々が〇〇な未来」の例で…

これからは、人々が町関係なく、人手が必要なところに誰でも参加できるような未来。(島外の人も)

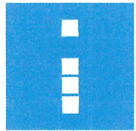


B 町



つくりたい未来につながった気づき (なぜその未来をつくりたいと思ったのか)

人手不足が問題となっていて、それによりイベントが開催できなくなっていること。



# アイデアシート IDEA

チーム  
J

アイデア名

## 押し町プロジェクト

アイデアの説明

町のファンクラブに登録してもらい、「押しらせ」を受けて「押し事」(=ボランティア)をしてもらうプロジェクト。

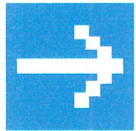
町について知る → 押し町の町ができる  
→ その町で押し事をする

アイデアのイラスト



アイデア発想につながった事例 (参考にした世の中のアイデアなど)

アイドルやアニメのキャラクターに対する若者たちの推しの活動



# チャレンジシート [計画] PLAN

チーム  
J

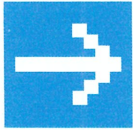
イノベーションの実現のために確かめたいこと

「推し町」を見つけることで「推し事」に参加したくなるのか

確認のためのチャレンジのための計画

- ① 実際に自分達が「推し事」に参加してみる。  
||  
(ボランティア)
- ② 本当の推しになったか確認
- ③ 他の人にもやってもらう





## まとめシート CONCLUSION

チーム  
J



町にくる人が増えることで経済効果が期待できる。  
ボランティア活動でやりがいを感じられる。



人手不足を解消できるのでまちづくりにつながる。



どの人でもまちづくりに参加できるので間接的に公正さを感じられる。

